

11月8日からは市役所21階など14会場で接種を実施

11月8日(月)以降は、下記の14か所の会場でワクチン接種を行います。接種は1人2回で、それぞれ予約が必要。実施日時は、会場ごとに異なります。ワクチンは、県央ワクチン接種センター分室ではモデルナ社製を、それ以外の13会場ではファイザー社製を使用。医療機関によって、接種できる年齢に制限がある場合があります。予約のときに確認してください。

予約は電話かインターネットで

- 電話=ワクチン接種の予約電話(月~金曜日、午前9時~午後6時 ☎ 0120-08-5670) へ
- インターネット=専用ホームページ(右記) へ



モデルナ社製のワクチンを使用する会場

- 県央ワクチン接種センター分室(市役所21階展望ロビー)

ファイザー社製のワクチンを使用する会場

- 井上病院(通町)
- 関越中央病院(北原町)
- 希望館病院(江木町)
- 黒沢病院(矢中町)
- 三愛クリニック(金古町)
- 第一病院(下小鳥町)
- 高崎中央病院(高関町)
- 二之沢病院(足門町)
- 榛名荘病院(中室田町)
- 日高病院(中尾町)
- 日高リハビリテーション病院(吉井町馬庭)
- 真木病院(筑縄町)
- 松本医院(吉井町吉井)



市役所21階展望ロビーの集団接種では、平日の夜や土・日曜日にも受けられる

本市では、新型コロナウイルスの1日当たりの新規陽性者数が、10月1日~25日の期間、約7割の日で0人となっています。その背景には、順調に進んでいるワクチン接種や、市民の皆さんの感染予防への協力があります。

今回号では、本市の陽性者数の推移や今後のワクチンの接種体制などについてお知らせします。

問い合わせは、高崎市コロナワクチン問合せ電話(☎ 395-7300)へ。

順調に進む希望者へのワクチン接種。11月8日(月)からは14会場で実施 新型コロナウイルスの ワクチン接種などのお知らせ

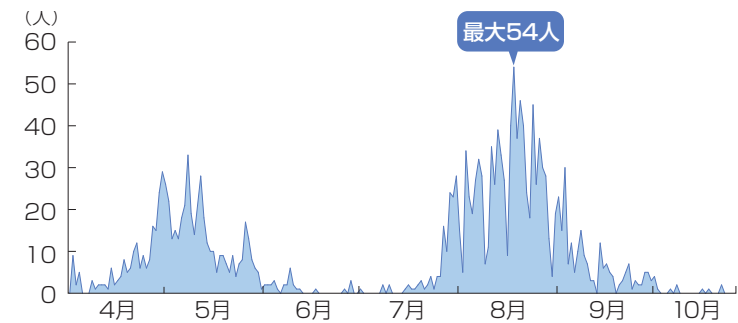
市はこれまで、新型コロナウイルスのワクチン接種について、接種を希望する市民がスムーズに受けられるよう、体制づくりを進めてきました。その結果、若い世代を含め全体で接種率が向上。本市全体の接種率は、10月25日時点で予約分を含めて約87%となっています。

新規陽性者は減少傾向 引き続き感染予防を

本市では、新型コロナウイルス感染症の1日当たりの新規陽性者数が、減ってきています(左図参照)。8月に1日最大54人の新規陽性者を確認して以来、徐々に減少。0人となる日も多くなっています。感染症の拡大を防ぐためには、今後も一人一人の感染予防が重要です。引き続き、皆さんのご協力をお願いします。

11月8日(月)以降の接種は会場を14か所から選択
ワクチン接種の対象となる市民のうち、接種を受けていない人の割合が少なくなってきたことから、接種会場が変わります。11月8日以降の接種は、市内14か所の会場で実施します(左ページ参照)。接種の相談は市や県の窓口へ市や県は、ワクチン接種に関する相談窓口を設けています。

■本市の1日当たりの新規陽性者数 令和3年4月1日~10月25日



2階。火~日曜日 ☎ 325・0111) へ。ファクス(FAX) 325・0112) などでも受け付けます。
ワクチン接種後の副反応や、副反応による医療機関の受診など専門的な相談は、県の相談窓口・ぐんまコロナワクチンダイヤル(24時間 ☎ 0570・783・910) へ。20か国語に対応。聴覚に障害のある人は、ファクス(FAX) 027・223・7872) などでも相談できます。

市ホームページ



日高病院に陰圧設備のある病室を整備

市は、新型コロナウイルスの感染者の受け入れに備え、病床の確保に継続して取り組んでいます。市内の医療機関に、病室内の空気を室外に出さないようにする、陰圧設備を備えた病室の整備を要請。11月から日高病院で、新たに3病室の運用が始まります。

市は今後も、医療機関と連携しながら、医療体制の強化を進めていきます。

問い合わせは、保健医療総務課(☎ 381-6111) へ。

